

## 史跡を巡り、歴史に触れる

◎等妙寺ウォーキング

近世の石割りに挑戦する参加者



11月28日、「等妙寺ウォーキング」が開催され、町内外から約100人が参加しました。片道約4kmの道のり。参加者たちは、担当者の説明を聞きながら、このイベントでは初めての公開となる「聖の墓」など、等妙寺旧境内の史跡を興味深げに見て回りました。

また今回は、等妙寺付近に江戸時代のものと思われる石切丁場跡があることから、当時の石割体験を実施。参加者の中から数名が、鉄製の矢と「げんこう」と呼ばれる大型の金づちを使って石材を2つに割ると、周りからは大きな歓声が上がりました。

## 戦時中の苦しい生活を味覚で体感

◎戦時下の食事を体験してみよう！

中学生にとっては初めての味も：



「『ぜいたくは敵！』く戦時下の食事を体験してみよう！」と題して、11月22日、明星草庵で体験イベントが行われました。これは鬼北町歴史民俗資料館で開催中の「くあれから70年く語り継ぐ戦争の記憶展」の一環として実施されたもので、日吉中学校生徒たちなど30名が参加。明星ヶ丘いきいき会の会員の協力で、全11品の食事が再現されました。

砂糖やしょうゆなどが貴重品とされた時代。その食べ慣れない味に、参加した人たちは「おいしい」「これはちよつと：」とそれぞれにさまざまな反応を見せていました。

## 上手にできるかな？そば打ちに挑戦！

◎きほく鬼ZZふるさと探検！

山下さんから子どもたちへコツを伝授



「きほく鬼ZZふるさと探検！」は12月5日、愛治地区で行われ、町内の小学生41人が参加しました。

第4回目となる今回は、山下猛さんと博樹さん親子「生田」の指導のもと、そば打ちに挑戦。3人ずつのグループに分かれた子どもたちは、お互いに協力していながら、一つ一つの工程を初めて体験していききました。

初めての体験に、作業をする子どもたちは終始楽しそうな表情。山下さんのアドバイスを参考にしながら、美味しくなるよう気持ちこめて作ったそばは、子どもたちにとって格別の味となりました。

## 手作りの苦勞と美味しさを体感

◎愛治小学校こんにやく加工体験&郷土料理作り

みんなで協力してこんにやく作り



12月3日、愛治小学校でやまびこ会(代表・松浦歌子)会員の指導のもと、「こんにやく加工体験&郷土料理作り」が行われました。

愛治小学校の5・6年生を対象に毎年行われているこの体験活動。今年は12人の児童が、調理に参加しました。

メインとなるこんにやく作りは、主に5年生の児童たちが担当。会員の人たちをお手本に実践してみるものの、初めての挑戦で思うようにいかず悪戦苦闘。それでも、こんにやく芋からこんにやくへと徐々に変わっていく様子に、児童たちは目を輝かせながら作業に没頭していました。